

明治150年 京都府の

参加無料

定員400名 | 事前申込制(全席自由)

# 文化・産業再興リレー講座

京都府にとって明治維新前後は、禁門の変に伴う市街地の大火災や、天皇の東遷、人口の減少、伝統産業の衰退など暗い面ばかりが目立つ時代でした。そのような社会情勢の中で京都人は、官民を挙げて京都の再興について文化・産業の面で尽力しました。京都学・歴史館では、その文化・産業の再興について、それぞれ専門の講師をお招きし理解をさらに深めます。

時間 全回 13:30 ~ 16:30 (受付13:00~) 場所 京都府立京都学・歴史館 大ホール



第三高等中学校本館(京都大学大学文書館蔵)



「御所之内大博覧会之図」  
(明治6年京都博覧会)



京都移転直後の第三高等中学校生徒  
(京都大学大学文書館蔵)



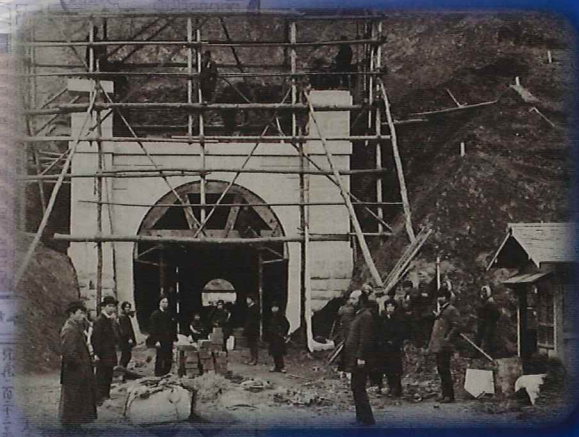
「都をどり」番組表紙



「琵琶湖疏水図誌」



「琵琶湖疏水図誌(水路図)」



「琵琶湖疏水工事写真帖」

## 第1回 京都の文化再興

平成30年 1月28日(日)

ヨーロッパの万国博覧会と日本

井野瀬 久美恵 氏(甲南大学文学部教授)

京都の起死回生 — 博覧会の時代へ

畑 智子 氏(京都府京都文化博物館学芸課長)

## 第2回 京都の産業再興

平成30年 2月11日(日・祝)

京都の産業革命 — 琵琶湖疏水とその時代

宗田 好史 氏(京都府立大学副学長)

琵琶湖疏水建設の経緯とその後の利用

小野 芳朗 氏(京都工芸繊維大学副学長)

## 第3回 学問の都、京都

平成30年 3月4日(日)

「三高」がやってきた — 第三高等中学校の京都移転とその後 —

西山 伸 氏(京都大学大学文書館教授)

京都大学の探検と創造の精神

山極 壽一 氏(京都大学総長)



### アクセス

JR近鉄京都駅、阪急烏丸駅から  
京都市営地下鉄烏丸線「北山駅」下車(①出口)南へ徒歩約4分  
京阪出町柳駅から  
京都市バス ① 府立大学前(北大路通)下車北へ徒歩約6分  
JR二条駅から  
京都市バス ②06 府立大学前(北大路通)下車北へ徒歩約6分

主催 京都府立京都学・歴史館

連絡先 〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1番地29 TEL 075-723-4831





第1回



**井野瀬 久美恵** (いのせ くみえ)  
甲南大学文学部教授

愛知県生まれ。1980年京都大学文学部英文学科卒業、同大学大学院文学研究科(西洋史学専攻)博士課程単位取得退学。博士(文学)。追手門学院大学文学部専任講師、甲南大学文学部助教授を経て、2000年4月より現職。専門はイギリス近現代史、大英帝国史。主な著書に、『大英帝国はミュージック・ホールから』(朝日新聞社、1990年)、『大英帝国という経験』(講談社、2007年)など。



**畑 智子** (はた ともこ)  
京都文化博物館学芸課長

大阪府生まれ。京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科博士課程修了。学術博士。博士論文「万国博覧会における“日本”建築1876-1904—アメリカ合衆国における三博覧会の分析を通じて」。2015年京都文化博物館企画展「京都老舗の文化史—千總460年の歴史」担当。著作に「明治四年京都博覧会について」(『朱雀：京都文化博物館研究紀要』25、2013年)など。

第2回



**宗田 好史** (むねた よしふみ)  
京都府立大学 副学長 環境デザイン学科教授

静岡県生まれ、法政大学大学院修了、イタリア政府給費留学生としてローマ大学等で研究、京都大学工学博士、国際連合地域開発センター主任研究員を経て、1993年京都府立大学助教授、現在同教授。著書『にぎわいを呼ぶイタリアのまちづくり』(学芸出版社、2000年)、『京町家再生の論理』(学芸出版社、2009年)、『なぜイタリアの村は美しく元気なのか』(学芸出版社、2012年)など。



**小野 芳朗** (おの よしろう)  
京都工芸繊維大学 副学長 デザイン・建築学系教授

山口県生まれ。1980年京都大学工学部衛生工学科卒業、同大学大学院工学研究科修士課程衛生工学専攻修了。博士(工学)。京都大学工学部講師、岡山大学環境理工学部教授を経て現職。著書に「水系都市京都」(編著、思文閣出版、2015年)「近代京都研究」(共著、思文閣出版、2008年)など。著作に「京都・南禅寺界隈庭園における琵琶湖疏水の水利利用」(共著、『日本建築学会計画系論文集』79巻698号、2014年)など。

第3回



**西山 伸** (にしやま しん)  
京都大学大学文書館教授

兵庫県生まれ。京都大学文学部卒業。『京都大学百年史』(全7巻、1997~2001年)の編集に従事。専門は日本近現代史。主な著作は、『学校沿革史の研究 総説』(共著、野間教育研究所、2008年)、『戦時期における高等教育機関の在学・修業年限短縮について』(『京都大学大学文書館研究紀要』第15号、2017年)など。



**山極 壽一** (やまぎわ じゅいち)  
京都大学総長

東京都生まれ。霊長類学者・人類学者。京都大学理学部卒、同大学院理学研究科博士後期課程単位取得退学。理学博士。ルンダ共和国カリンソケ研究センター客員研究員、日本モンキーセンター研究員、京都大学霊長類研究所助手、京都大学大学院理学研究科助教授、同教授、同研究科長・理学部長を経て、2014年より現職。日本霊長類学会会長、国際霊長類学会会長を歴任。現在、日本学術会議会員、国立大学協会会長、環境省中央環境審議会委員を務める。

(敬称略)

■**申込期間** いずれも先着順で定員(400名)になり次第、募集締切

- 第1回(1月28日開催) 12月25日(月)~1月22日(月)
- 第2回(2月11日開催) 12月25日(月)~2月5日(月)
- 第3回(3月4日開催) 2月1日(木)~2月26日(月)

■**会場等のお問い合わせ先**

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1番地29  
京都府立京都学・歴史館 TEL 075-723-4831

■**応募方法**

事前申込制(先着順)  
FAX、メール、電話でお申し込みください。(1件につき2名まで)  
**府民総合案内・相談センター TEL 075-411-5000**  
※申込時確認事項  
(必須)氏名、住所、連絡先電話番号、人数、同伴者のお名前  
(任意)メールアドレス、FAX

参加お申し込み

明治150年 ~京都府の文化・産業再興リレー講座~  
場所：京都府立京都学・歴史館 大ホール **FAX応募用紙** FAX番号 075-411-5001

参加希望の講座にチェックを入れてください。(複数応募可、ただし第3回の申込期間は2月1日~2月26日です。)

1/28 第1回「京都の文化再興」  2/11 第2回「京都の産業再興」  3/4 第3回「学問の都、京都」

ふりがな	参加人数 合計 (代表者を含め2名まで)	名
代表者名	同伴者氏名(代表者以外)	
ご住所 〒	ふりがな	
	氏名	
電話 ( )	FAX ( )	
メールアドレス @		

定員に達した後のお申込みに限り、不参加のご連絡を差し上げます。返信(参加はがき・受付メール)は送付いたしませんので、講座当日は直接、京都学・歴史館へお越しください。

※メールの方は、上記内容をご記入の上、お申し込みください。 **411-5000@pref.kyoto.lg.jp**

※応募時にご記入いただいた個人情報は、本講座に関するご連絡のみに使用いたします。  
※ご記入いただいた内容に不備がある場合、ご参加いただけないことがございますので、連絡時にはご注意ください。※プログラムには変更の可能性がございますので、ご了承ください。

障害等のため、設備、情報保障等の配慮が必要な場合は、申し込み時にお知らせください。